

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 6月23日更新

事務事業名		熊本県企業誘致連絡協議会参画事業			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展			
総合計画体系	政策	6	産業の健幸		所属部	産業振興部	課長名	衛藤 和博
	施策	25	企業誘致の促進と働く場の確保		所属課	商工振興課	担当者名	本田 千晴
	業務分野	73	企業誘致の促進		所属班	企業立地支援班	(内線)	5214
予算科目		会計一般	款 7	項 1	目 3	事業連番 10319	法令根拠	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	熊本県企業誘致連絡協議会(平成4年設立)への参画によって、情報の収集や他の自治体の企業誘致動向を把握する。熊本県企業誘致連絡協議会主催のイベント参加、展示会参加を通じて企業動向を把握する。 H4年7月熊本県企業誘致連絡協議会の設立により、市町村での取り組みが始まった。 ※S47工業再配置促進法の制定に伴い市町村での取り組みが始まった。(S47工業再配置促進法～S58テクノポリス法～H9高度産業集積法～H19制定地域産業活性化法～H26産業競争力強化法)
【業務の流れ】	協議会主催事業等への参加(総会・各種研修会・セミナー) 文書受付、負担金の負担行為及び支出。
【主な予算費目】	負担金

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

熊本県企業誘致連絡協議会に負担金を支払い参画した。同協議会主催の半導体・自動車関連セミナー等により企業誘致活動に関する情報を定期的に入手し、また市町村企業誘致担当者研修により職員の見識を深め、誘致活動を行った。

②7年度計画(次年度に計画している主要内容)	③予算の主な増減の理由
本年度も引き続き同様の活動を行っていく。	

成果指標	(単位)	データ取得方法
ア 情報取得件数	件	
イ		
ウ		

(2)成果指標・総事業費の推移		単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
成果指標	ア 件		10	10	10	8	10	10	10	0
事業費	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	200	200	200	200	200	200	200	200
(A) 事業費計	千円	200	200	200	200	200	200	200	200	

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

異業種交流を通じた経済界の最新情報の収集を行なうことができた。

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)